

卒業生を送ることば

例年がない大雪の寒さも日ごとにゆるみ、暖かい日ざしに春の訪れを感じる頃となりました。

卒業生の皆様、本日は、ご卒業おめでとございます。在校生一同、心よりお祝いを申し上げます。

本日、新潟商業高校を羽ばたいていかれる皆様の胸の中には、この学校での三年間の様々な記憶、思い出が刻まれていることでしょう。それは私達、在校生も同じ気持ちです。皆様と過ごした日々は、人生でかけがえの無い充実した日々となりました。

しかし、そんな日々にも、昨年度より続く、新型コロナウイルス感染症の影響が多くありました。学校活動も、縮小や中止があり、例年のような盛り上がりを見られないこともありました。

皆様におかれましても高校生活最後の晴れ舞台となるはずだった葦原大運動会、例年通りの葦原祭が出来ず、時に残念な思いをされたのではないのでしょうか。

けれども、葦原祭は皆様の創意あふれる工夫や素晴らしいリーダーシップにより、いつもとは違った新しい行事として開催することができました。また昨年十二月に行われた球技大会では、皆様の熱い思いが大体育館にこぼれ、校舎全体へと伝わってきました。

そして、改めて先輩方の凄さを強く実感しました。私の記憶に強く残っているのは、ドッジボールでの勝敗が決まらず、クジ引きによって決めた時の光景です。あたりはずれ関係なく讃え合った皆様の姿からは、互いを認め合うことの大切さや素晴らしさを学ぶことができました。皆様、生徒会行事を盛り上げてくださり、ありがとうございました。

さらに部活動においても、皆様のリードが、各部の活気と活躍の原動力となりました。先輩達のリーダーシップがこの学校の新たな伝統を築き上げてくださっていたのだと、改めて感じます。皆様のその姿は、私達のあこがれとして、目標として、新商生の進むべき道を指し示してくださいました。

これから私達も、皆様のようにな、新商生としてふさわしい存在となれるよう、日々努力し、この歴史ある新潟商業高校をさらによりよくしていきます。

最後に、皆様の門出を在校生全員で送ることは、かないませんでした。本日、列席させていただきました生徒会三役をはじめ、在校生一同、皆様のこれからのご健勝とご活躍を心からお祈りし、卒業生を送ることばとさせていただきます。

令和三年 三月 二日